

CONTENTS

広報

ななお

2009 No.60

9

● 目次

- 2 ひと人ヒト
- 3 七尾に3人のALT
- 4 「マクベス」がやってくる
- 6 平成20年度決算に基づく財政状況
- 7 一日でも早く下水道への接続を
- 8 と〜くあばうと／市長談話室／
ななこちゃんのエコ生活
- 9 今月の市民相談／ケーブルテレビ番組
紹介
- 10 情報ランド
- 16 まちの顔
- 18 伸ばせ！七尾っ子プロジェクト／
児童館へ行こう
- 19 イベント情報
- 20 休日医療情報／不用品活用銀行
- 21 みんなの本棚
- 22 ガラス工芸の精華（能登島ガラス美術
館）／わが家のアイドル

今月の表紙

シドニー五輪銀メダリストの中村真衣さん（表紙写真中央）による水泳教室が、8月6日、城山水泳プールで行われた。この日は市内の水泳クラブに通う、小学生から高校生までの約30人が集まり、元メダリストの指導のもと真剣な表情で練習に励んでいた。

水泳教室の最後には、中村さんの模範泳法も披露され、子どもたちはプールの底に潜り、水中からも一流の泳ぎを食い入るように見つめていた。

元メダリストの泳ぎに触れた子どもたちにとって、オリンピックという夢の舞台が身近に感じられたひと時であった。

オリンピック目指して、がんばれ七尾っ子！

ひと

ヒト



「災いが去るように」 願いが込められた「ざるぼぼ」

堀まさこのさん（98歳） 国下町



「災いが去るように」との願いが込められた「ざるぼぼ」を作るのは、堀まさこのさん。「ざるぼぼ」とは、サル（サル）の赤ちゃんをかたどった縁起物で、堀さんが作るのは体長約2センチ。その小さな体の一つひとつには顔や帯、さらには飾りひもまでつけられているなど、細工の細かさには驚かされる。

毎年、交通安全週間にあわせて七尾警察署へ約300個贈っており、交通安全にも一役買っている。

また、6月7日に行われた徳田地区敬老福祉芸能大会の参加者約3

00人に配ったところ「ざるぼぼをもらえたので」今年は来て良かった」と、とても喜んでもらえたと言情をゆるめる。

平成19年から飯川町の秋祭りの参加者全員へお守りとして配られているざるぼぼも、堀さんが昨年から婦人会の方々に作り方を伝授したもの。長年培ってきた「技」と「思い」が次の世代へとしっかりと引き継がれていることに、確かな地域のつながりが感じられる。

「こんなものでも喜んでくれる人がいる。楽しみながら少しずつ作ってためておいて、声がかかったらわけてあげている。」ざるぼぼを眺めながら、はつらつと話すその表情や声からは、とても98歳とは思えない。地域の高齢者から学ぶべきことはまだまだありそうだ。

七尾に 3人のALT*

みんなが通う学校にも
行くよ〜っ!

国際化の時代が キタ



東湊小3年生のみんなと
一緒にハイチーズ



※ALT【=外国語指導助手(Assistant Language Teacher)】
市内の小中学校で英語の授業を担当し、行事などにも参加しながら子どもたちと一緒に
学校生活を送ります。子どもたちとの交流を通じて国際理解を深めることが目的です。



ルーク・オートンさん
(出身：オーストラリア)
(31歳)

Luke Auton

シドニー生まれのキャンベラ育ちです。キャンベラは森林がたくさんあり、カンガルーなどのオーストラリアンアニマルの生息地としてよく知られています。

音楽が好きで、エレキ・ギターを演奏するようになって17年になります。

日本食に興味があり、七尾の有名な海産物が食べられることにワクワクしています。七尾の子どもたちに英語や文化について教えることを楽しみにしています！



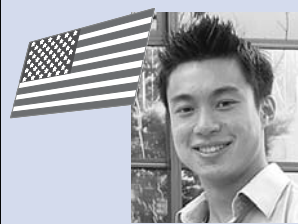
カレン・トムニーさん
(出身：イギリス)
(22歳)

Karen Tomney

スコットランドで生まれ、イギリス北部で育ちました。この7月に大学を卒業したばかりで、大学時代は哲学を専攻していました。

スキーがとても好きなので、日本でもぜひやってみたいです。日本に来たのは初めてですが、東京で「プリクラ」(イギリスにはありません)や「カラオケ」を楽しみました。

9月から学校に行くこと、そしてたくさんの生徒や先生たちと出会うことを楽しみにしています！



ギャリー・ワットさん
(出身：アメリカ)
(26歳)

Gary Wat

カルフォルニア州のロサンゼルスから来ました。カルフォルニアには美しいビーチがたくさんあります。好きなスポーツはサーフィンで、すぐそばをイルカが泳いでいくことがあります。ロサンゼルスでは塾を経営していて、数学・英語・化学などたくさんの教科を教えていました。

英語・スペイン語・広東語・北京語と4つの言語を使えますが、日本語もたくさん学びたいです。七尾のたくさんの子どもたちに英語を学ぶことを楽しんでもらいたいです。